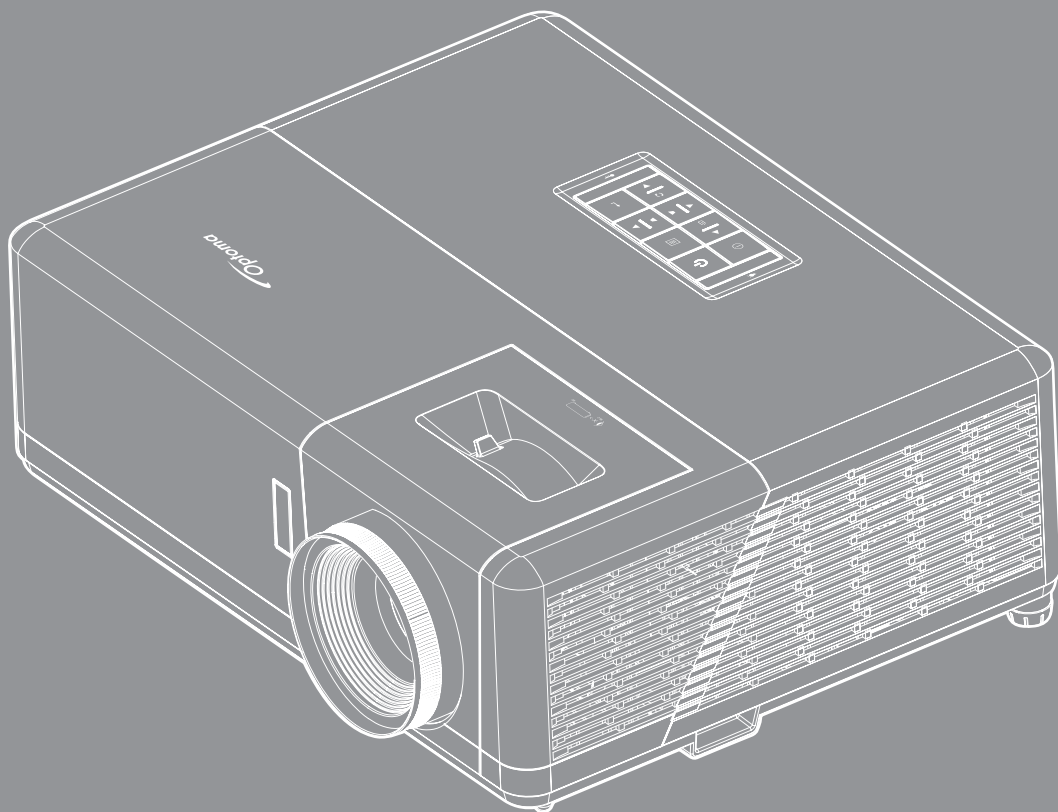




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル

4K ULTRA HD™

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

DLP™
TEXAS INSTRUMENTS

4K
UHD

HDR
COMPATIBLE

目次

安全	4
安全に関するご注意.....	4
レーザー放射安全情報.....	5
レーザーに関する通知	6
レンズの清掃.....	6
3D 安全情報.....	6
著作権.....	7
免責条項.....	7
商標認識.....	7
FCC.....	8
EU 諸国への適合宣言.....	8
WEEE.....	8
はじめに	9
パッケージの内容.....	9
標準アクセサリー	10
製品の各部名称	10
接続	11
キーパッド.....	12
リモコン	13
設定と設置	14
プロジェクターを設置する	14
ソースをプロジェクターに接続する.....	16
投射画像の調整	17
リモート設定	18
プロジェクターを使用する	20
プロジェクターの電源をオン/オフする	20
入力ソースを選択する.....	21
プロジェクター設定メニュー (OSD).....	22
OSD メニューツリー	23
表示メニュー.....	29
オーディオメニュー.....	35
設定メニュー.....	36
情報メニュー.....	39

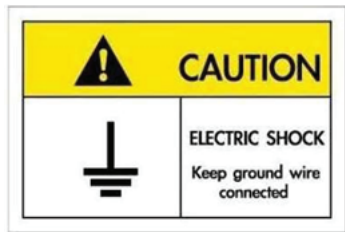
追加情報 40

対応解像度.....	40
イメージサイズと投射距離.....	45
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	46
リモコンコード.....	47
トラブルシューティング.....	49
警告インジケーター.....	50
仕様.....	53
Optoma 社グローバルオフィス.....	54

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータースタンドや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 5°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がある。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。

- ・ プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- ・ お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- ・ 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- ・ 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- ・ メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- ・ プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ・ プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- ・ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ・ ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- ・ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- ・ レンズを素手で触らないでください。
- ・ 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- ・ 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- ・ プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- ・ 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電や電圧低下により、デバイスが停止する可能性があります。

レーザー放射安全情報

- ・ 本製品は IEC60825-1:2014 の「クラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2」として分類されており、IEC 62471-5:Ed. 1.0 で定義されているリスクグループ 2、LIP (レーザー照明プロジェクター) として 21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。1.0.詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射產品RG2危險等級
IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级



"WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN."
Additional warning against eye exposure for close exposures less than 1 m.
"AVERTISSEMENT : INSTALLER AU-DESSUS DE LA TÊTE DES ENFANTS."
Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1 m.
"警告：安装在高于孩童头顶处"
关于小于1 m近距离眼睛暴露的附加警告
"警告：安装在高于儿童头部处"
针对1 m 以下近距离眼睛接触的额外警告

- ・ あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- ・ このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- ・ お子様を監視するための追加の指示、凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと。
- ・ お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。

- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物 (拡大鏡など) を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

制御手順、調整手順、運用手順に従わない場合、レーザー照射にさらされ、怪我をしたり、物を壊したりする恐れがあります

レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014: クラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2。

この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。

- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常的眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© Copyright 2022

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

MHL (Mobile High-Definition Link) および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

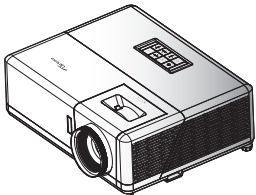
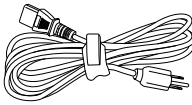
はじめに

Optoma 4K UHD プロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここでは、音声制御のセットアップや FAQ などの追加情報やドキュメントも掲載されています。

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

			☐ 保証書* ☒ クイックスタートユーザー マニュアル
プロジェクター	IR リモコン	電源ケーブル	文書

注記:

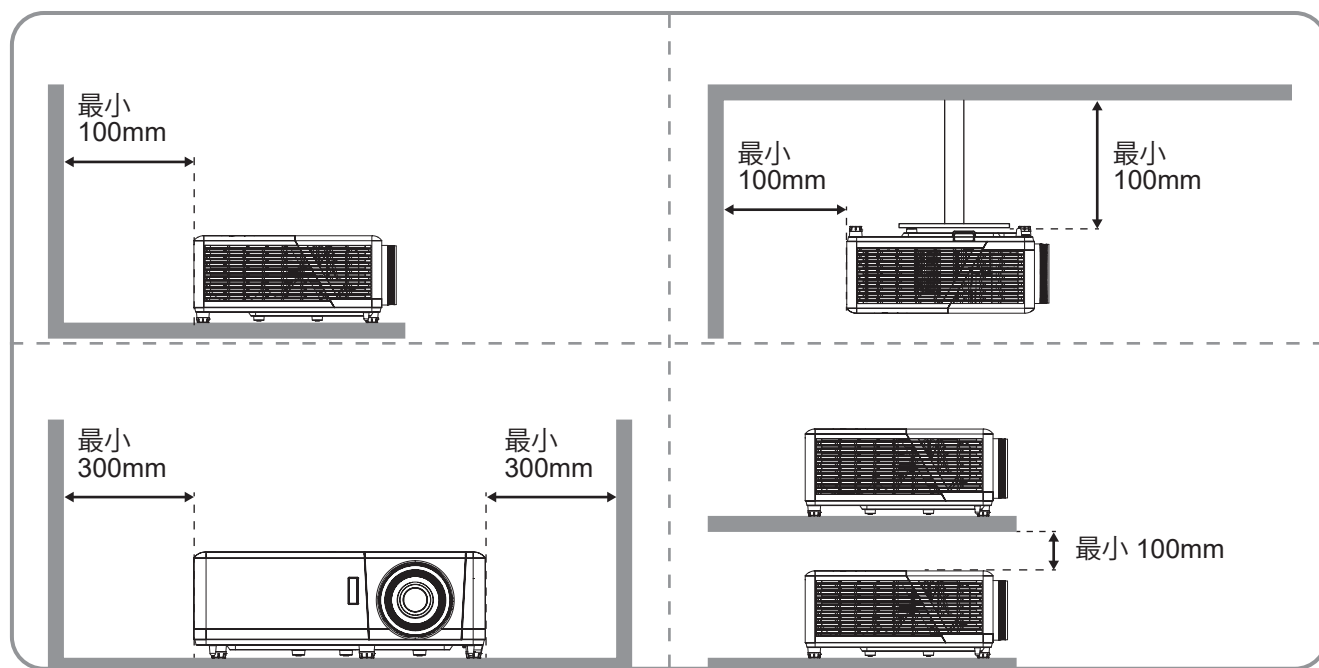
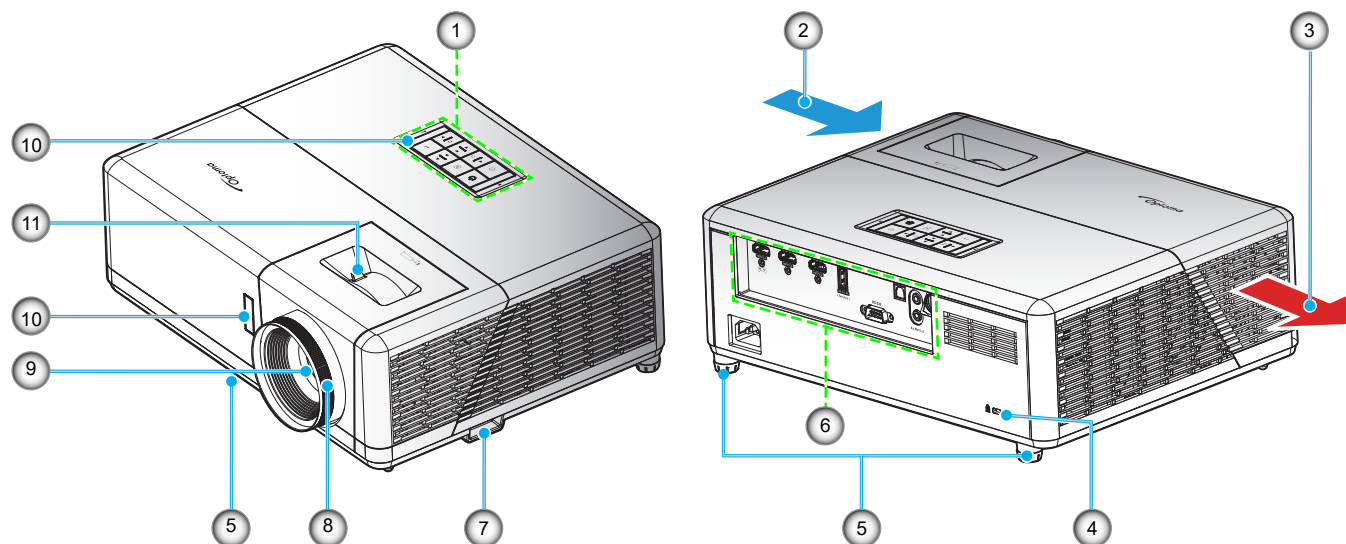
- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- リモコンは電池と共に出荷されます。
- * 保証情報については、<https://www.optoma.com/support/download> にアクセスしてください
- 設定情報、ユーザーマニュアル、保証情報、製品の更新にアクセスするには、QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください。
<https://www.optoma.com/support/download>



はじめに

標準アクセサリ

製品の各部名称



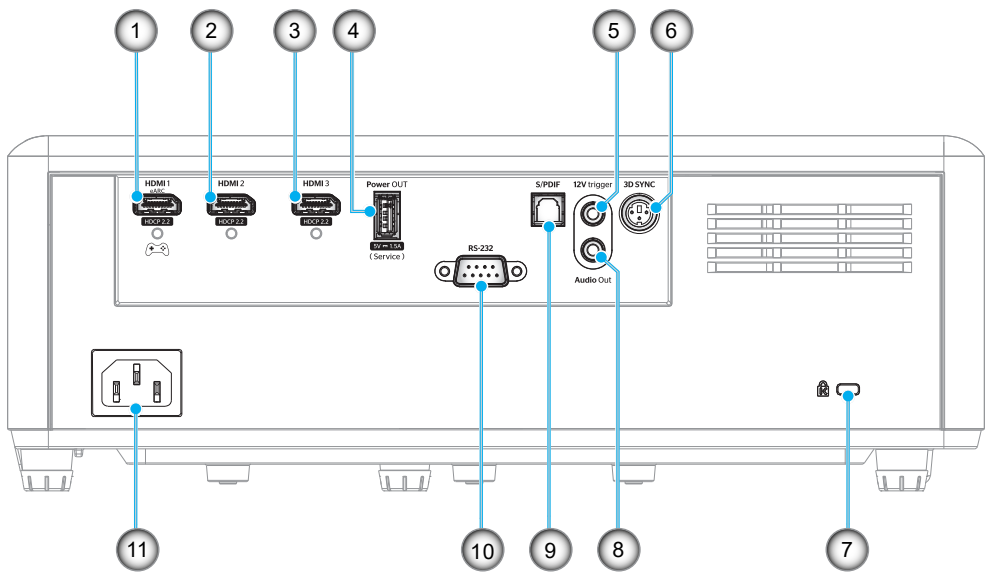
注記:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。

番号	項目
1.	キーパッド
2.	換気 (吸気口)
3.	換気 (排気口)
4.	Kensington™ ロックポート
5.	チルト調整フット
6.	入/出力

番号	項目
7.	セキュリティバー
8.	フォーカス リング
9.	レンズ
10.	IR レシーバー (前方および上部)
11.	ズームレバー

接続

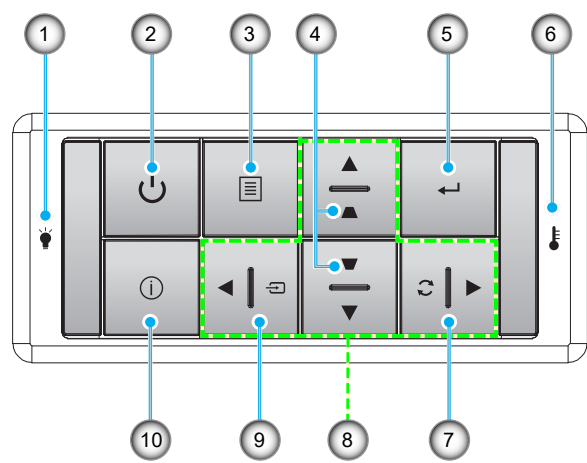


番号	項目
1.	HDMI 1 端子 (eARC/ARC 出力、低遅延モード)
2.	HDMI 2 端子 (HDMI-1 端子を介して eARC オーディオ形式を渡す)
3.	HDMI 3 端子 (HDMI-1 端子を介して eARC オーディオ形式を渡す)
4.	電源出力 (5V---1.5A) 端子 (サービス用)
5.	12V トリガ (DC 出力、電圧: 12V、電流: 0.5A (最大))
6.	3D 同期

番号	項目
7.	Kensington™ ロック ポート
8.	オーディオ出力端子
9.	S/PDIF 端子 • アナログ出力: 2ch PCM のみ • デジタル出力: Dolby Digital 5.1 (AC3)
10.	RS-232 端子
11.	電源ソケット

はじめに

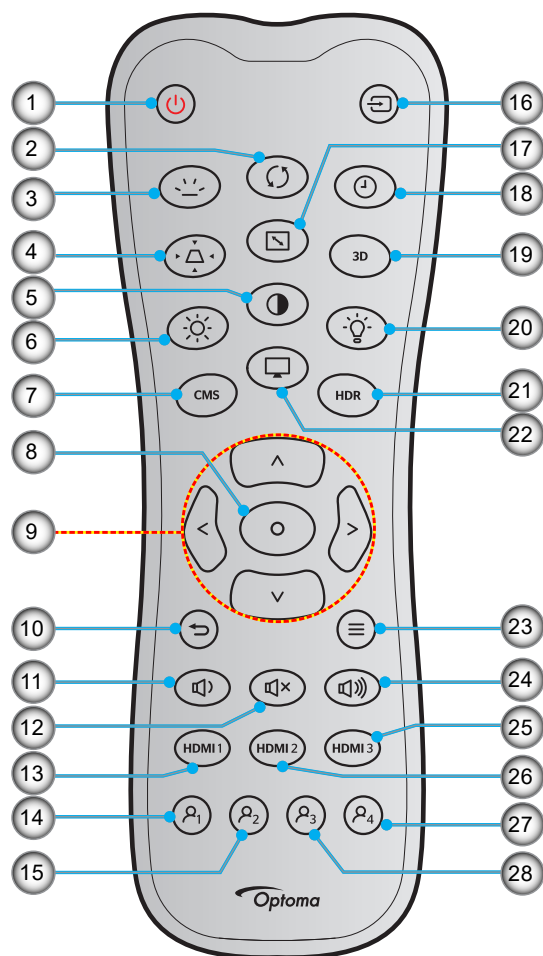
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	光源 LED	6.	温度 LED
2.	電源および消費電力 LED	7.	再同期
3.	メニュー	8.	4 方向選択キー
4.	キーストン補正	9.	ソース
5.	入力	10.	情報

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン	15.	ユーザー2 (割り当て可能)
2.	再同期	16.	ソース
3.	バックライト	17.	アスペクト比
4.	キーストン	18.	スリープタイマー
5.	コントラスト	19.	3D メニューオン/オフ
6.	輝度	20.	ランプ
7.	CMS	21.	HDR
8.	入力	22.	モード
9.	4 方向選択キー	23.	メニュー
10.	戻る	24.	音量 +
11.	音量 -	25.	HDMI3
12.	ミュート	26.	HDMI2
13.	HDMI1	27.	ユーザー4 (割り当て可能)
14.	ユーザー1 (割り当て可能)	28.	ユーザー3 (割り当て可能)

注記:

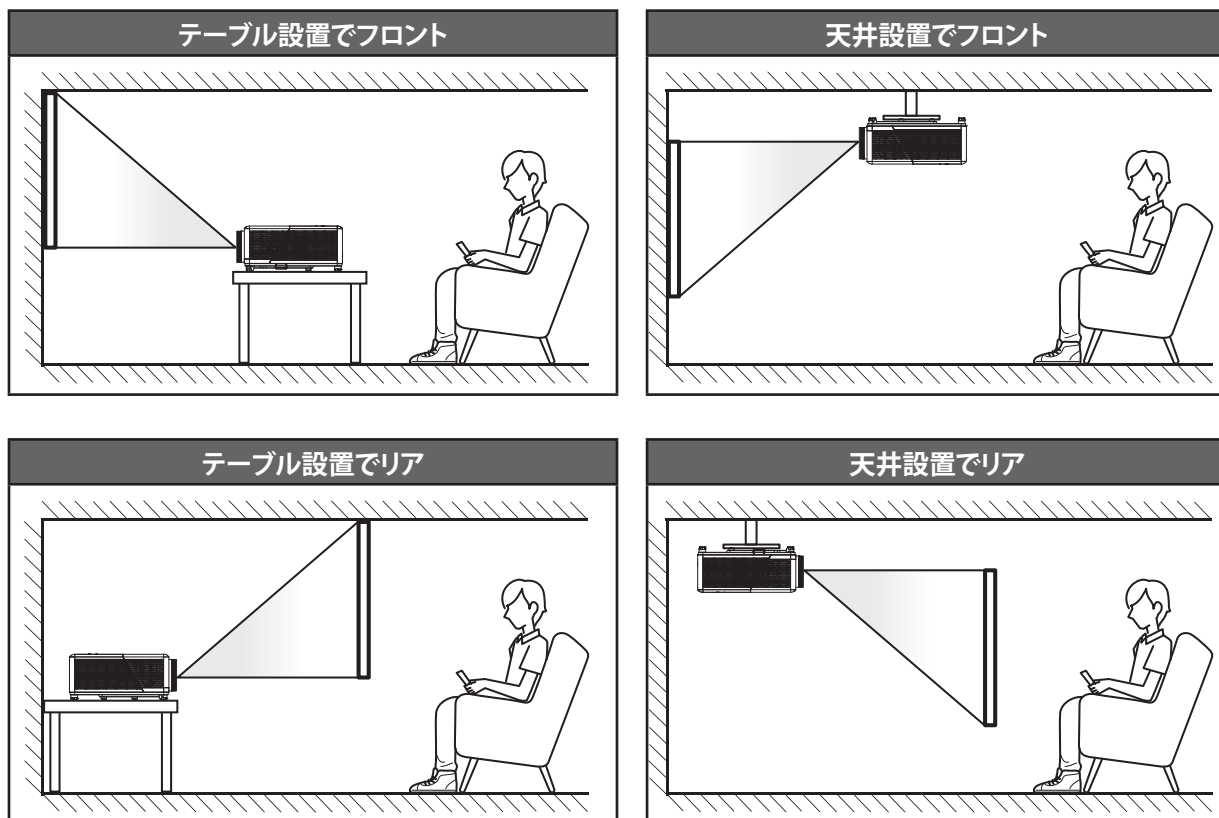
- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- 一部のキーは、これらの機能をサポートしていないモデルでは機能しない場合があります。

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズのプロジェクターの位置を決定する場合は、距離表 (45 ページ) を参照してください。
- 特定の距離のスクリーンサイズを決定する場合は、距離表 (45 ページ) を参照してください。

注記: プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

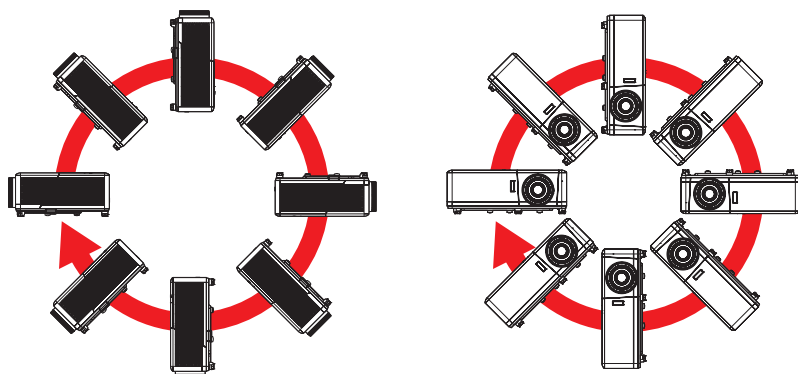
重要!

テーブルトップ、天井マウント、以下に一覧表示されている次の 360°自動方向操作以外の方向でプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。その他の方向を指定すると、保証が無効になり、プロジェクターの寿命が短くなる可能性があります。非標準の設置に関するアドバイスについては、Optoma にお問い合わせください。

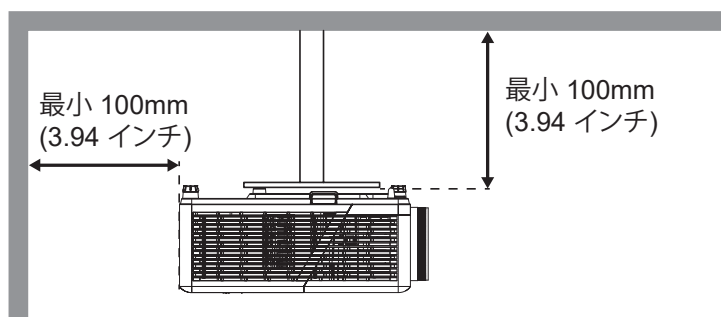
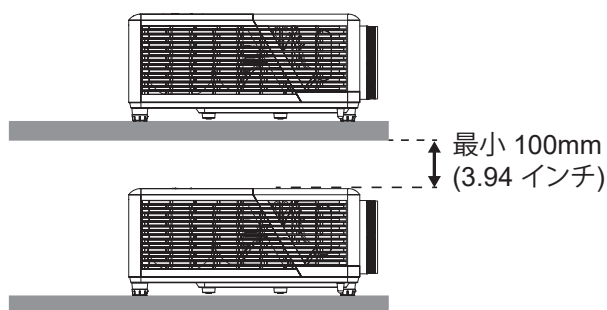
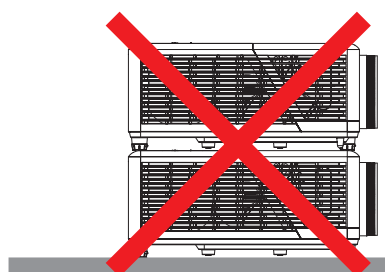
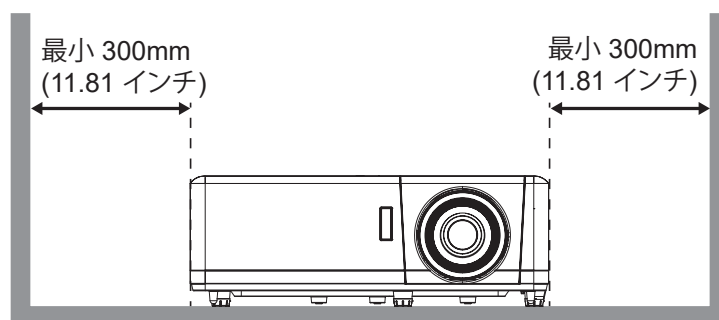
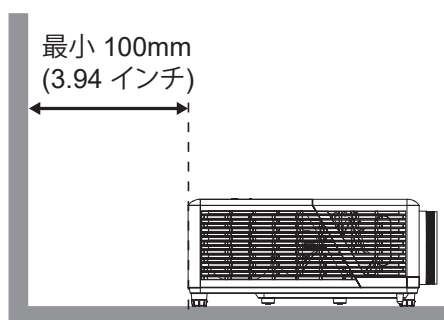
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360° の自由方向操作



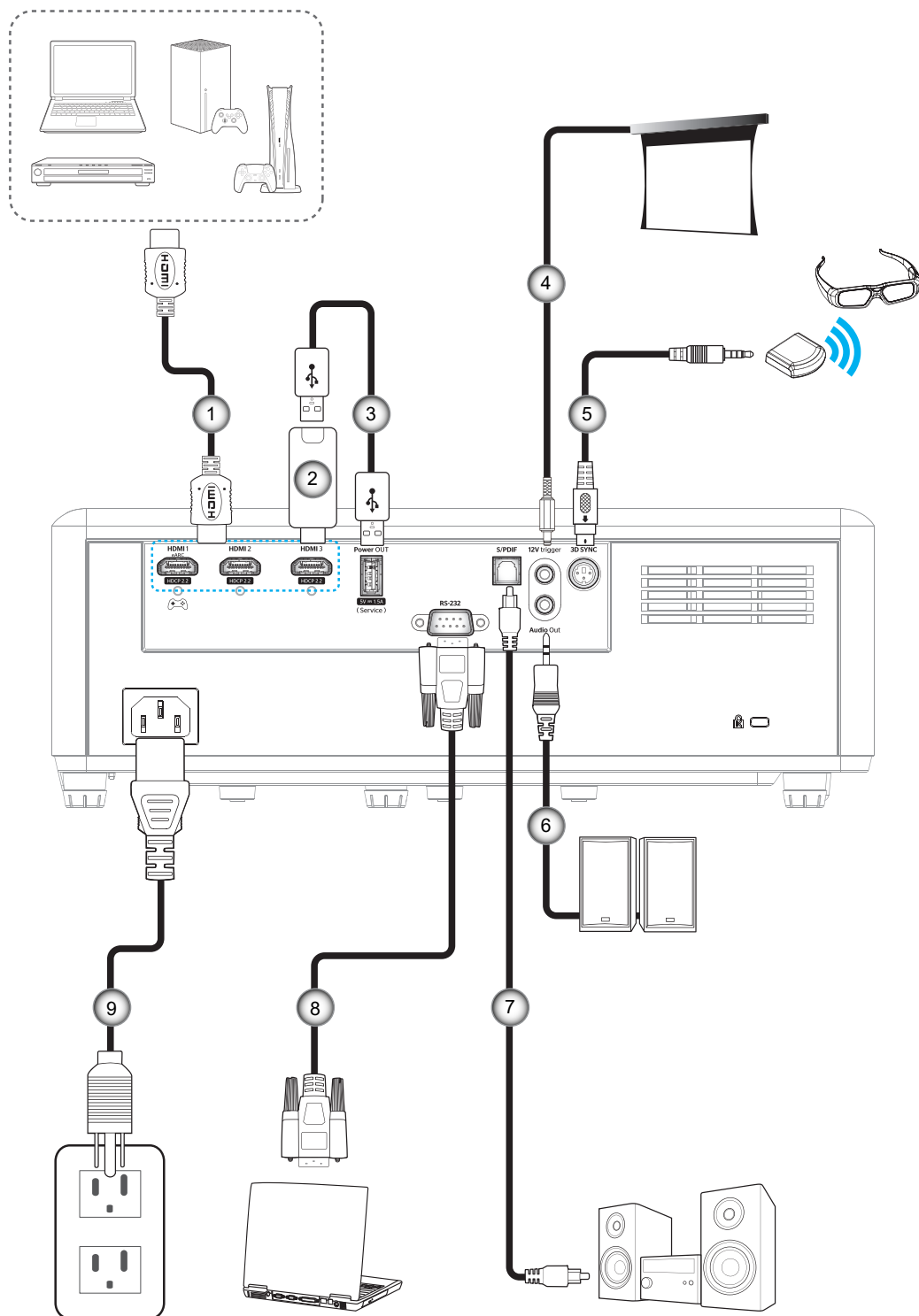
- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、プロジェクターが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるため、プロジェクターが排気を取り込まないよう、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	HDMI ケーブル
2.	HDMI ドングル
3.	USB 電源ケーブル

番号	項目
4.	12V DC ジャック
5.	3D エミッターケーブル
6.	オーディオ出力ケーブル

番号	項目
7.	S/PDIF 出力ケーブル
8.	RS-232 ケーブル
9.	電源コード

注記: 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、プレミアム HDMI ケーブルを使用してください。20 ～ 25 フィートを超えるケーブル長の場合は、アクティブファイバー HDMI ケーブルを使用することを強くお勧めします。

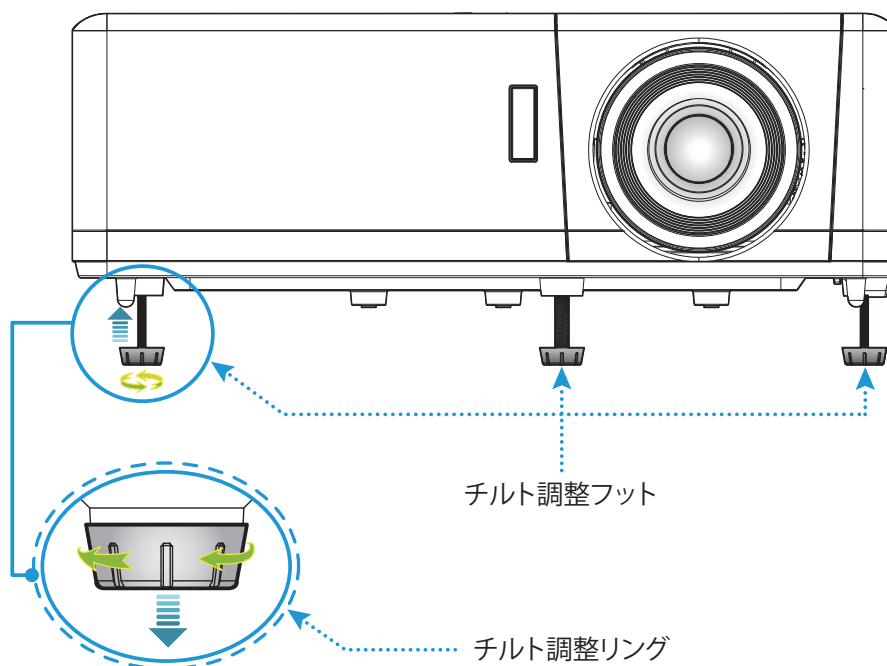
設定と設置

投射画像の調整

画像の高さ

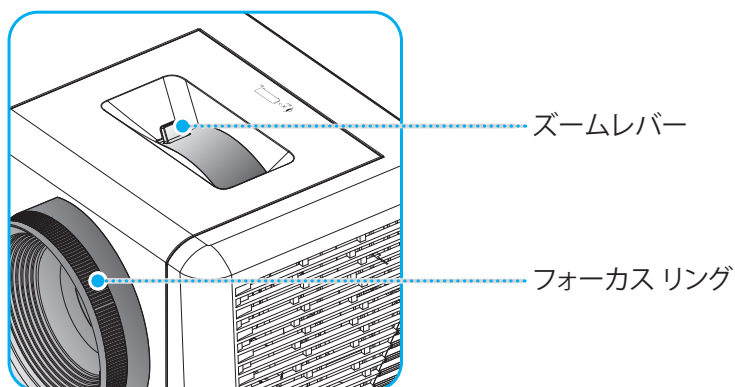
本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズームとフォーカス

- 画像サイズを調整するには、ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投影される画像サイズを拡大または縮小します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



注記: このプロジェクターは 1.2m ～ 9.9m の距離でピントを合わせることができます。

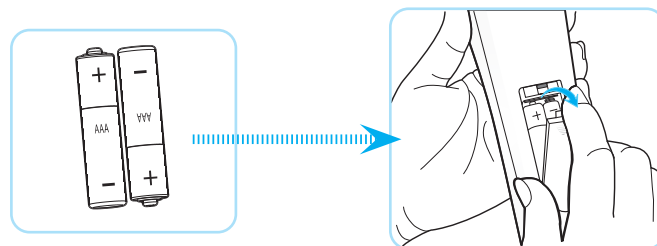
設定と設置

リモート設定

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

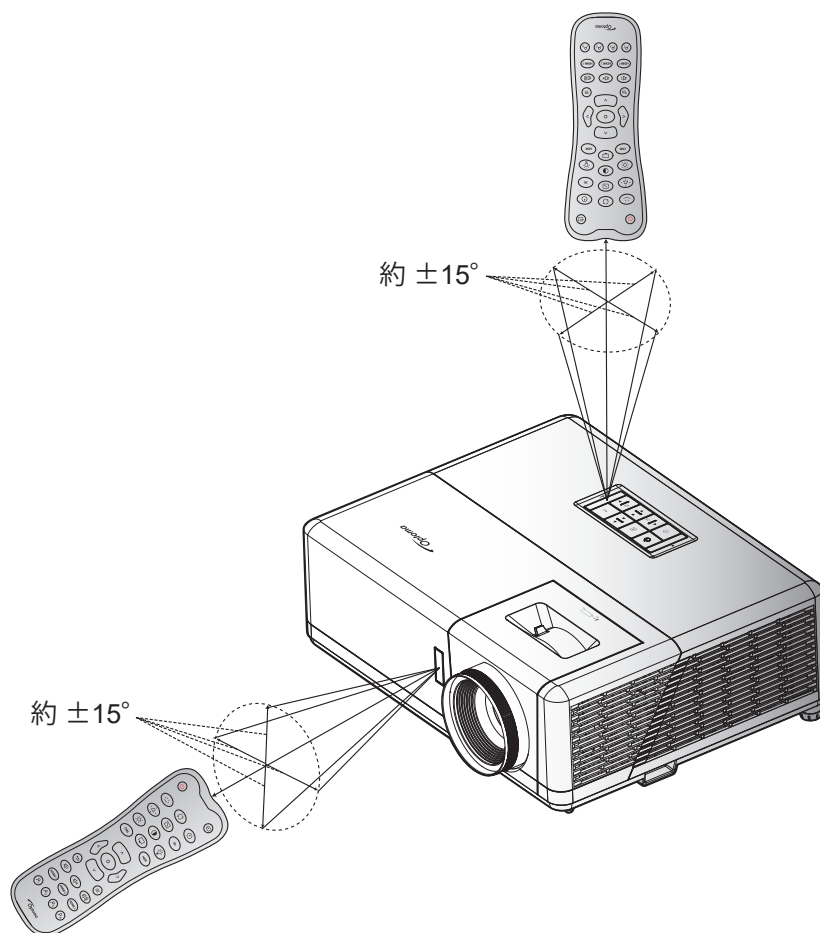
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。正しく機能するように、リモコンをプロジェクターの上部または前面の IR リモコンセンサーに対して垂直に 30° 以内の角度で保持してください。リモコンとセンサーの間の距離は、6 メートル (約 19 フィート) を超えてないようにしてください。

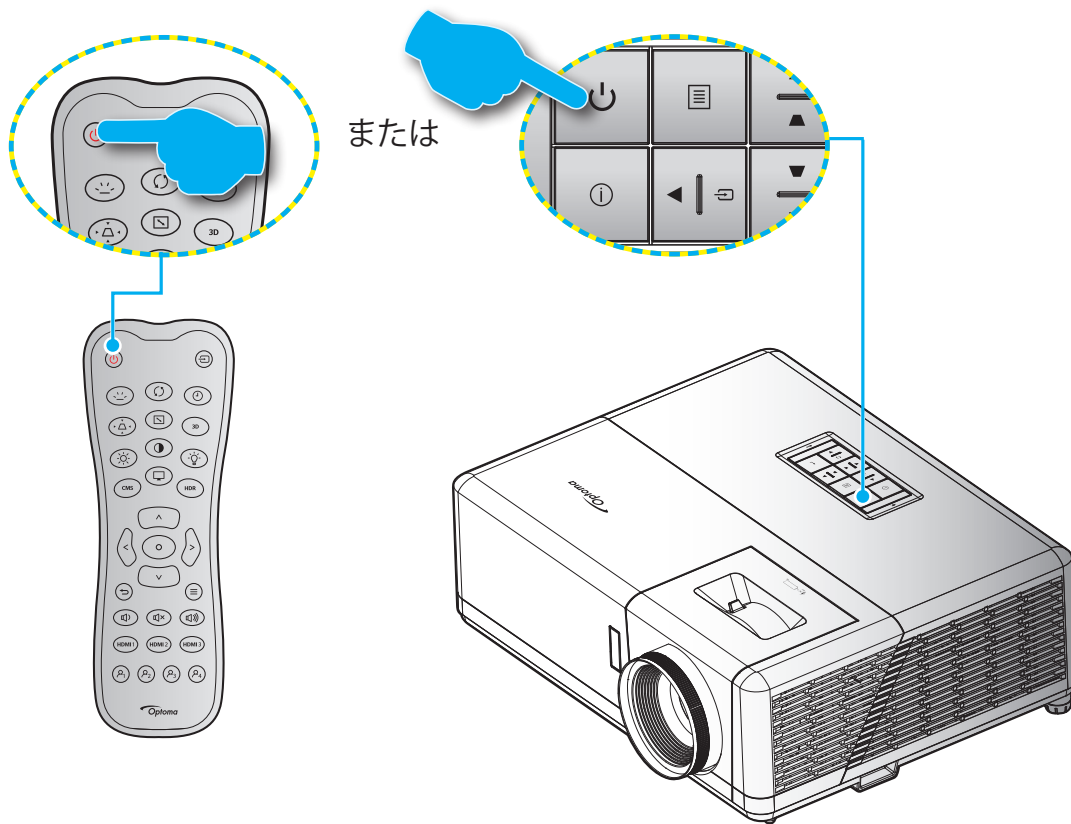
注記: リモコンを IR センサーに直接向ける (角度 0°) 場合、リモコンとセンサーの間の距離は 8 メートル (約 26 フィート) を超えてないようにしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの赤外線送信機が直射日光や蛍光灯に照らされていないことを確認してください。
- リモコンを蛍光灯から 2 メートル以上離してください。リモコンが誤動作する可能性があります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯の近くにあると、断続的に無効になる場合があります。
- リモコンとプロジェクターが近すぎると、リモコンが機能しない場合があります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 7 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源をオン/オフする



電源オン

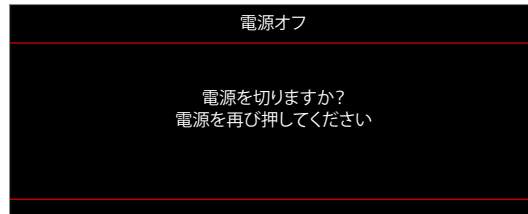
1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オンスタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オンスタンバイ LED が青色に点滅します。

注記: 初めてプロジェクターの電源を入ると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [🔴] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。

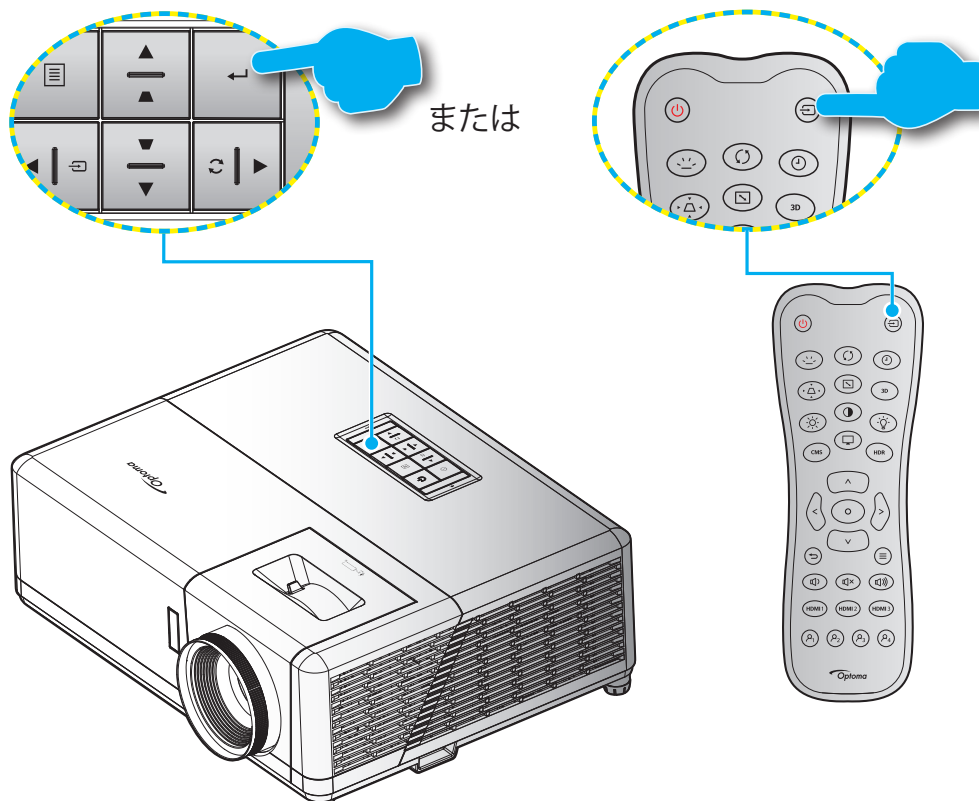


3. [🔴] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [🔴] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイLEDが赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[🔴] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [📺] ボタンを押し、入力を選択します。

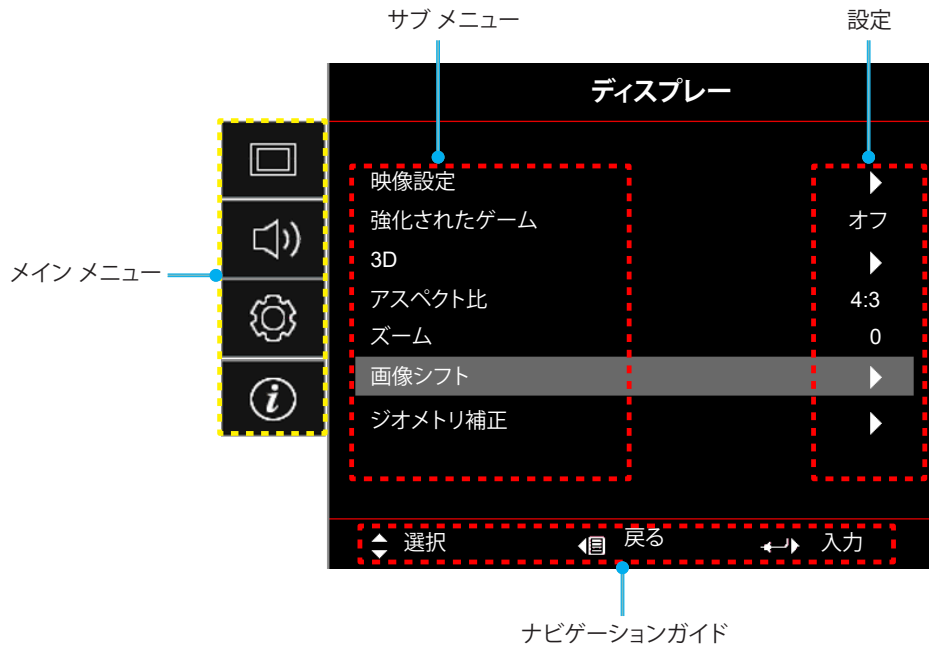


プロジェクターを使用する

プロジェクター設定メニュー (OSD)

リモコンの「≡」を押し、OSD メニュー「≡」を選択して、プロジェクター情報を確認するか、画像、ディスプレイ、3D、オーディオ、セットアップに関連するさまざまな設定を管理します。

一般的なメニューのナビゲーション



1. OSD が表示されたら、「上」および「下」ナビゲーションボタンを使用して、メインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで選択した後、キーパッドの「←」またはリモコンの「○」を押してサブメニューに入ります。
2. 「左」および「右」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、キーパッドの「←」またはリモコンの「○」を押して、サブメニューを開きます。
3. 「上」および「下」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. キーパッドの「←」またはリモコンの「○」を押して設定を有効または無効にするか、「左」および「右」ボタンを押して値を調整します。
5. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
6. 終了するには、「⏏」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注記: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルと地域によって異なります。*Optoma* は、通知なしに製品のパフォーマンスを向上させるためにアイテムを追加または削除する権利を留保します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	映像設定	ディスプレイモード	[旧付] モード		シネマ
					HDR
					HLG
					HDR SIM.
					ゲーム
					リファレンス
					高輝度
					ユーザー
					3D
			[ビデオ] モード		シネマ
					フィルム
					HDR
					HLG
					HDR SIM.
					ゲーム
					リファレンス
					高輝度
					ユーザー
					3D
					ISF Day
					ISF Night
					ISF 3D
		壁色補正			オフ (デフォルト)
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		ダイナミックレンジ	HDR/HLG		オフ
					自動 [デフォルト]
			HDR ピクチャ モード		高輝度
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					詳細
			HLG ピクチャ モード		高輝度
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					詳細
			HDR動作輝度		0 ~ 10

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	映像設定	輝度			-50 ~ 50
		コントラスト			-50 ~ 50
		シャープネス			1 ~ 15
		カラー			-50 ~ 50
		色あい			-50 ~ 50
		ガンマ	フィルム		
			ビデオ		
			グラフィック		
			標準 (2.2)		
			1.8		
			2.0		
			2.4		
		色設定	BrilliantColor™		1 ~ 10
			色温度		低
					標準
					高
					冷色
			カラーマッチング	カラー	赤 [デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白(*)
				色あい / R(*)	-50 ~ 50 [デフォルト: 0]
				彩度 / G(*)	-50 ~ 50 [デフォルト: 0]
				ゲイン / B(*)	-50 ~ 50 [デフォルト: 0]
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			RGB ゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ~ 50
				緑ゲイン	-50 ~ 50
				青ゲイン	-50 ~ 50
				赤バイアス	-50 ~ 50
				緑バイアス	-50 ~ 50
				青バイアス	-50 ~ 50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			カラースペース	[非 HDMI 入力]	自動 [デフォルト]
					RGB
					YUV
				[HDMI 入力]	自動 [デフォルト]
					RGB (0-255)
					RGB (16-235)
					YUV

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	映像設定	ブライトネスモード			ダイナミックブラック
					エコ
					定電力モード 消費電力 = 100%/95%/90%/85%/80%/75%/70%/65%/60%/55%/50%
					定輝度モード 電源 = 85%/80%/75%/70%
		リセット			
	強化されたゲーム				オフ
					オン
	3D	3D モード			オフ [デフォルト]
					オン
		3D同期反転			オン
					オフ [デフォルト]
	アスペクト比				4:3
					16:9
					21:9
					32:9
					垂直ストレッチ (SVGA XGA モデルを除く)
					フル画面
					自動
	ズーム				-5 ~ 25 [デフォルト: 0]
	画像シフト	水平 			-100 ~ 100 [デフォルト: 0]
		垂直 			-100 ~ 100 [デフォルト: 0]
	ジオメトリ補正	4コーナー			
		水平キーストン			-30 ~ 30 [デフォルト: 0]
		垂直キーストン			-30 ~ 30 [デフォルト: 0]
		自動垂直キーストン			オフ
					オン [デフォルト]
		3x3 ワープ			
		リセット			
オーディオ	オーディオモード				スピーカー/オーディオ出力 [デフォルト]
					SPDIF/eARC
	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	音量				0 ~ 10 [デフォルト: 5]
設定	設置モード				フロント  [デフォルト]
					リア 
					天井 - トップ 
					リア - トップ 

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	電源設定	電源検知オート パワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知オート パワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		自動電源オフ(分)			0 ~ 180 (5 分の増分) [デフォルト: 20]
		スリープタイマー (分)			0 ~ 990 (30 分の増分) [デフォルト: 0]
			常にON		いいえ [デフォルト]
					はい
		電源モード (スタンバイ)			アクティブ
					エコ [デフォルト]
	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワードの変更			[デフォルト: 1234]
	HDMIリンク設定	HDMI リンク設定			オフ [デフォルト]
					オン
		モニター連動			いいえ [デフォルト]
					はい
		電源オン設定			双方向設定 [デフォルト]
					PJ --> デバイス
					デバイス --> PJ
		電源オフ設定			オフ [デフォルト]
					オン
	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白グリッド
					白
					オフ
	リモコン設定	リモコン受光設定			オン [デフォルト]
					オフ
	プロジェクタID				00 ~ 99
	12V トリガ				オン
					オフ [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	オプション	言語			English [デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					繁體中文
					簡体中文
					日本語
					한국어
					Русский
		メニュー設定	メニュー位置		左上 
					右上 
					中央  [デフォルト]
					左下 
					右下 
			メニュータイマー		オフ
					5 秒
					10 秒 [デフォルト]
		オートソース			オフ [デフォルト]
					オン
		入力ソース			HDMI1
					HDMI2
					HDMI3
		名前の入力		HDMI1	デフォルト [デフォルト] / カスタム
				HDMI2	デフォルト [デフォルト] / カスタム
				HDMI3	デフォルト [デフォルト] / カスタム
		高地モード			オフ [デフォルト]
					オン
		ディスプレイモードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
		情報を表示しない			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ニュートラル

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	オプション	背景色			なし [ビデオ/ Pro-AV のデフォルト]
					青色 [データモデルのデフォルト]
					赤
					緑
					グレー
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]
情報	制御				
		シリアル番号			
		ソース			
		解像度			00x00
		リフレッシュレート			0.00Hz
		ディスプレイモード			
		プロジェクター ID			00 ~ 99
		ブライトネスモード			
		FW バージョン	システム		
			MCU		

プロジェクターを使用する

表示メニュー

映像設定メニュー

ディスプレイモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れたカラーパフォーマンスを保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **シネマ/フィルム:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **HDR:** 他のディスプレイモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。
注記: HDR が自動に設定されている場合 (および HDR コンテンツがプロジェクターに送信される場合 - 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)、このモードは自動的に有効になります。HDR モードがアクティブな間、他のすべてのディスプレイモードはグレー表示されます。
- **HLG:** 他のディスプレイモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイブリッドログガンマ (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。
注記:
 - HDR が自動設定されている場合 (および HLG コンテンツがプロジェクターに送信される場合)、このモードは自動的に有効になります。HLG モードがアクティブな間、他のすべてのディスプレイモードはグレー表示されます。
 - HDMI1 と HDMI2 のみが HLG をサポートします。
- **HDR SIM.:** ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。
注記: このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
注記: このディスプレイモードは、HDR ビデオコンテンツを表示したり、HDR ゲームをプレイしたりする場合は使用できません。低入力遅延を有効にするには、PC またはコンソールが HDMI1 に接続されていることを確認し、拡張ゲームモードを有効にしてください。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図した方法に可能な限り近い画像の色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画鑑賞時に最も正確な色再現を行うには、このモードを選択してください。
- **高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **ユーザー:** ユーザー定義の設定を記憶し、独自のディスプレイモード設定を調整します。
- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
注記: 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
- **ISF Day:** 日中の表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
- **ISF Night:** 夜間の表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
- **ISF 3D:** 3D 表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。

注記:

- ISF モードは、ビデオモードでのみ使用できます。
- ” HDR または HLG が有効になっている場合、シネマ、ゲーム、リファレンス、高輝度オプションはグレー表示されます。

プロジェクターを使用する

壁色補正

スクリーンのない壁に投影するときに、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れたカラーパフォーマンスを保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。壁の色に合わせて選択できる事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレーから選択します。

注記: 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

ダイナミックレンジ

ハイダイナミックレンジ (HDR) 設定と、4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからのビデオを表示するときのその効果を構成します。

▶ HDR/HLG

- **オフ:** HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。
- **自動:** HDR 信号を自動検出します。

▶ HDR ピクチャ モード

- **高輝度:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングと最高レベルの詳細を実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

▶ HLG ピクチャ モード

- **高輝度:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングと最高レベルの詳細を実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

▶ HDR動作輝度

- HDR コンテンツの輝度を調整します。この設定の影響は、コンテンツによって異なります。設定をほぼ最大または最大に調整すると、画像の詳細が失われる可能性があります (コンテンツによって異なります)。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

プロジェクターを使用する

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **ビデオ:** ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2):** 標準化された設定用。
- **1.8/2.0/2.4:** 特定の PC/写真ソース用。2.4 は、ビデオコンテンツやゲームにも使用でき、より深いコントラストを実現できます。

注記: これらのオプションは、3D モード機能が無効になっている場合にのみ使用できます。

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™:** 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度:** 色温度を 低、標準、高、冷色 から選択します。
- **カラーマッチング:** 次のオプションを選択します:
 - カラー: 画像の赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、白 (W) レベルを調整します。
 - 色あい: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
 - 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
 - ゲイン: 画像の明るさを調整します。
 - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
 - 戻る: [カラーマッチング] メニューを終了します。
- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
 - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
 - 戻る: [RGB ゲイン/バイアス] メニューを終了します。
- **カラースペース (HDMI1 のみ):** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235) および YUV。
- **カラースペース (HDMI2/コンポーネントのみ):** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)。

注記: ソースが HDMI3 の場合、カラースペース機能はサポートされません。

ブライトネスモード

ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを手動で選択し、ブライトネスモード設定を調整します。

- **ダイナミックブラック:** 最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。
- **エコ:** 「エコ」を選択するとプロジェクターレーザーのダイオードを減らして電源消費量を少なくし、レーザーダイオードの寿命を延長することができます。
- **定電力モード:** ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。
- **定輝度モード:** 定輝度モードでは、時間が経過しても輝度を一定に維持するように、LD 輝度の強度を変化させます。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクトターを使用する

エンハンストゲーミングメニュー

この機能を有効にすると、ゲーム中の応答時間 (入力遅延) が HDMI ポート 1 で 4 ミリ秒に短縮されます。すべてのジオメトリ設定 (例: キーストン、ワープ) は、エンハンストゲーミングモードが有効であるとき、無効になります。以下の追加情報。

注記:

- HDMI1 でのみサポートされます。
- 4 ミリ秒は、適切なビデオカードを備えた高性能ゲーミング PC を使用する場合、1080p 240Hz 信号でのみサポートされます。
- 信号入力遅延テーブルは以下のとおりです (値はわずかに異なる場合があります): 4K120Hz 信号はサポートされていません。

ソースタイミング	強化されたゲーム	出力タイミング	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p240Hz	1080p	17ms
1080p120	オン	1080p240Hz	1080p	8.6ms
1080p240	オン	1080p240Hz	1080p	4ms
4K60	オン	4K60	4%	16.9ms
1080p60	オフ	4K60	1080p	33.8ms
1080p120	オフ	4K60	1080p	17ms
1080p240	オフ	4K60	1080p	8.6ms
4K60	オフ	4K60	4%	33.7ms

- 「強化されたゲーム」モードが有効になっている場合 – 3D 再生、アスペクト比、ズーム、画像シフト、幾何補正機能が自動的に無効になることに注意してください。「エンハンストゲーミング」モードを無効にすると、これらの機能と設定が復元されます。

3D メニュー

3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

アスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3:** このフォーマットは 4:3 入力ソース用です。
- **16:9/21:9/32:9:** ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9/21:9/32:9 入力用です。
- **垂直ストレッチ:** このモードでは、2.35:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- **フル画面:** この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および 2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記:

- 垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチ モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチ モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます。

プロジェクターを使用する

- 全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います：
 - 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
 - 「全画面表示」フォーマットを選択します。
 - プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

4K UHD スケーリング表:

16: 9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
21x9	3840 x 1644 に調整します。				
32x9	3840 x 1080 に調整します。				
垂直ストレッチ	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します				
全画面表示	5068 x 2852 (132% 拡大) に拡大縮小してから、中央の 3840 x 2160 画像を表示します 注記: このフォーマットを使用して、2.35:1 ソースの字幕を非表示にし、UHD DMD を 100% 埋めます。				
自動	- ソースが 4:3 の場合、2880 x 2160 に自動的にサイズ変更されます - ソースが 16:9 の場合、3840 x 2160 に自動的にサイズ変更されます - ソースが 15:9 の場合、3600 x 2160 に自動的にサイズ変更されます - ソースが 16:10 の場合、3456 x 2160 に自動的にサイズ変更されます				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

プロジェクターを使用する

ズームメニュー

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

注記: ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

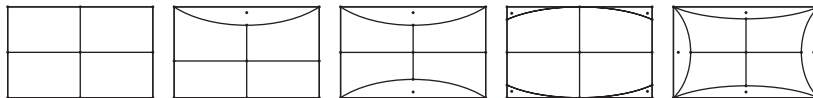
画像シフトメニュー

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

注記: 水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。

ジオメトリ補正メニュー

- **4コーナー:** この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。
注記: 4 コーナーを調整している間、ズーム、アスペクト比、画像シフトメニューは無効になります。ズーム、アスペクト比、画像シフトを有効にするには、4 コーナーの設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。
- **水平キーストン:** 画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **垂直キーストン:** 画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **自動垂直キーストン:** 垂直キーストンエラーを自動的に修正します。
- **3x3 ワープ:** 3x3 (9 補正ポイント) ワーピングを使用して、投影面 (画面) の境界に合わせて画像を調整するか、画像の歪みを排除します (表面の凹凸による)。



- **リセット:** ジオメトリ補正を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

注記: 拡張ゲームモードを使用する場合、設定が入力遅延に影響を与えるため、4 コーナー、水平キーストン、垂直キーストン、3x3 ワーピングは無効になります。入力遅延を小さくするために拡張ゲームモードを使用する場合は、4 コーナー、水平キーストン、垂直キーストン、3x3 ワーピングを使用せずにプロジェクターをセットアップすることを強くお勧めします。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオモード

適切なオーディオモードを選択します。

注記:

- 選択したオーディオモードは、すべてのソースに適用されます。
- プロジェクターは、スピーカー/オーディオ出力モードを自動的に検出します。
- eARC 機能は両方の HDMI1 でサポートされています。
- 現在の入力オーディオ形式が PCM でない場合、ソースデバイスでオーディオモードが変更された後、システムは再同期します。
- 音声出力装置が入力源の音声形式に対応していない場合、音声出力が異常になります。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** 「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注記: ミュート機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

音量

音量レベルを調整します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

設置モード

フロント、背面、天井 - 上部、および背面 - 上部からお好みの投影を選択します。

電源設定

電源設定を構成します。

- **電源検知オートパワーオン:** [オン] を選択すると、電源検知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。
- **信号検知オートパワーオン:** [オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注記:

- この機能は VGA および HDMI ソースに適用されます。
 - 信号検知オートパワーオンは、一度に 1 つの HDMI ポートにのみ使用できます。プロジェクターに複数のソースデバイスが接続されている場合、信号検知オートパワーオンは機能しません。信号検知オートパワーオンの状態で、複数のソースデバイスを使用する場合は、HDMI スイッチを使用してください。
 - **自動電源オフ(分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
 - **スリープタイマー (分):** スリープタイマーを設定します。
 - スリープタイマー (分): カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
- 注記:** スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。
- 常にON: スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。
 - **電源モード (スタンバイ):** 電源モードを設定します。
 - アクティブ: 「アクティブ」を選択すると通常スタンバイに戻ります。
 - エコ: 「エコ」を選択して、消費電力をさらに 0.5W 未満に節約します。
 - **USB給電 (スタンバイ):** プロジェクターがスタンバイモードのとき、USB/パワー機能を有効または無効にします。

セキュリティ

セキュリティ設定を構成します。

- **セキュリティ:** プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。
 - オフ: [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。
 - オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。

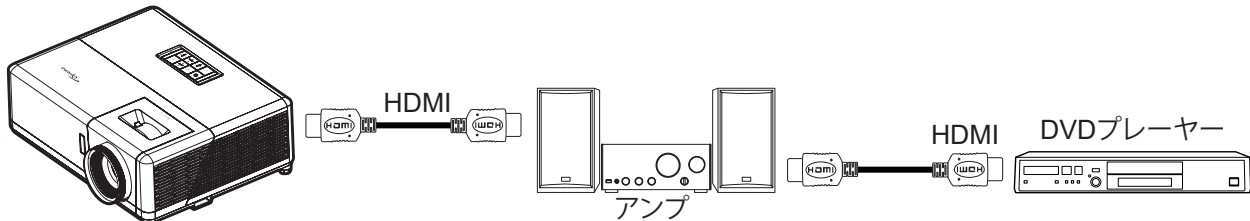
注記: デフォルトのパスワードは「1234」です。

- **セキュリティタイマー:** 時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。
- **パスワードの変更:** プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

プロジェクターを使用する

HDMIリンク設定

注記: HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



- **HDMI リンク設定:** HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。
- **モニター連動:** 設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。
- **電源オン設定:** CEC 電源オンコマンド。
 - 双方向設定: プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
 - PJ --> デバイス: プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
 - デバイス --> PJ: CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。
- **電源オフ設定:** この機能を有効にして、HDMI Link とプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

リモコン設定

- **リモコン受光設定:** リモコン受光設定を行います。
 - オン: [オン] を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
 - オフ: [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

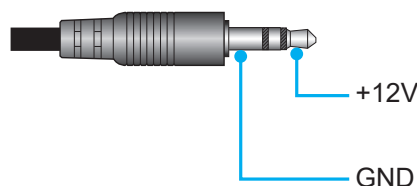
プロジェクタID

ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

12V トリガ

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注記: リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5mm ミニジャック。



- **オン:** 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ:** 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

プロジェクターを使用する

オプション

プロジェクターのオプションを構成します。

- **言語:** 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語から多言語 OSD メニューを選択します。
- **メニュー設定:** 画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。
 - **メニュー位置:** スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
 - **メニュータイマー:** OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。
- **オートソース:** 利用可能な入力ソースをプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。
- **入力ソース:** HDMI1、HDMI2、HDMI3 から入力ソースを選択します。
- **名前の入力:** 簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。HDMI1、HDMI2、HDMI3 を選択できます。
- **高地モード:** [オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。
- **ディスプレイモードロック:** [オン] または [オフ] を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。
- **キーパッドロック:** キーパッドロック機能が [オン] である時、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。
- **情報を表示しない:** この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。
 - **オフ:** [オフ] を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。
 - **オン:** [オン] を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。
- **ロゴ:** この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。
 - **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
 - **ニュートラル:** ロゴは起動画面に表示されません。
- **背景色:** 信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、ロゴ、または、なしを表示します。

リセット

プロジェクターをリセットします。

- **OSDをリセット:** OSD メニュー設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。
- **初期状態にリセット:** すべての設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレーモード
- プロジェクター ID
- ブライトネスモード
- FW バージョン

追加情報

対応解像度

ビデオの互換性

信号	解像度
SDTV	480p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080p (24/50/60Hz)
UHD	2160p (24/50/60Hz)

ビデオタイミングの詳細：

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	注記
SDTV(480p)	640 x 480	60	
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	240	HDMI1、HDMI2 場合のみ
WQHD(1440p)	2560 x 1440	120	
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/50/60	4K UHD の場合

コンピューターの互換性

VESA 規格 (コンピューター信号 (アナログ RGB の互換性))：

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	56/60/72	Mac 60/72
XGA	1024 x 768	60/70/75	Mac 60/70/75
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75	Mac 60/75
WXGA	1280 x 800	60	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	Mac 60
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75	Mac 60/75
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200 (*)	60	Mac 60

注記: (*) 1920 x 1200 @60Hz は、RB (ブランキングの削減) のみをサポートします。

追加情報

PC のタイミングテーブル:

信号	解像度	水平周波数	リフレッシュ レート			
		(KHz)	(Hz)	ビデオ	デジタル	注記
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	該当なし	√	56Hz
SVGA	800 x 600	37.9	60.3	該当なし	√	60Hz
SVGA	800 x 600	46.9	75	該当なし	√	該当なし
SVGA	800 x 600	48.1	72.2	該当なし	√	72Hz
SVGA	800 x 600	53.7	85.1	該当なし	√	85Hz
SVGA	832 x 624	該当なし	75	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	48.4	60	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	56.5	70.1	該当なし	√	70Hz
XGA	1024 x 768	60	75	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	68.7	85	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	該当なし	120	該当なし	該当なし	該当なし
SXGA	1152 x 864	該当なし	75	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720	該当なし	50	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720	該当なし	60	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720	92.62	120	該当なし	該当なし	該当なし
WXGA	1280 x 768	47.4	60	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768	該当なし	75	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768	該当なし	85	該当なし	√	該当なし
WXGA-800	1280 x 800	該当なし	60	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	64	60	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	80	75	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	91.1	85	該当なし	√	該当なし
SXGA+	1400 x 1050	該当なし	60	該当なし	該当なし	該当なし
UXGA	1600 x 1200	75	60	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	該当なし	24	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	該当なし	50	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	該当なし	60	該当なし	√	該当なし
WUXGA	1920 x 1200	該当なし	60	該当なし	√	RB
HDTV	1920 x 1080i	該当なし	50	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080i	該当なし	60	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	該当なし	24	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	該当なし	50	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	該当なし	60	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720	45	60	√	該当なし	該当なし
HDTV	1280 x 720p	該当なし	50	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720p	該当なし	60	√	√	該当なし
SDTV	720 x 480p	該当なし	60	該当なし	√	該当なし

注記: 「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該当なし」は、解像度が利用できないことを意味します。

追加情報

コンピューターの互換性 (Mac)

解像度	Hz	Macbook の互換性	Macbook Pro (Intel) の互換性	Power Mac G5 の互換性	Power Mac G4 の互換性
		デジタル	デジタル	デジタル	デジタル
800 x 600	60	√	√	該当なし	√
800 x 600	72	√	√	該当なし	√
800 x 600	75	√	√	該当なし	√
800 x 600	85	√	該当なし	該当なし	√
1024 x 768	60	√	√	該当なし	√
1024 x 768	70	√	√	該当なし	√
1024 x 768	75	√	√	該当なし	√
1024 x 768	85	√	√	該当なし	√
1280 x 720	60	√	√	該当なし	√
1280 x 768	60	√	√	該当なし	該当なし
1280 x 768	75	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280 x 768	85	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
1280 x 800	60	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280 x 1024	60	√	該当なし	該当なし	√
1280 x 1024	75	√	該当なし	該当なし	√
1920 x 1080	60	√	該当なし	該当なし	√
1920 x 1200 (*)	60	√	該当なし	該当なし	√
3840 x 2160	60	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

注記:

- (*) 1920 x 1200 @60Hz は、RB (ブランキングの削減) のみをサポートします。
- 「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該当なし」は、解像度が利用できないことを意味します。

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	60/72/85/120	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120	Mac 60/70/75/85
SDTV(480P)	640 x 480	60	
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA(*2)	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60/120(RB)	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60/85	
UXGA	1600 x 1200	60/65/70/75/85	
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/30/50/60/120	Mac 60
HDTV(1080p)	1920 x 1080	240(*3)	Mac 60

追加情報

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
WUXGA	1920 x 1200(*1)	60	Mac 60RB
WQHD	2560 x 1440	60RB/120	
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/30/50/60	Mac 24/30
UHD(2160p)	4096 x 2160	24/30/50/60	Mac 24

注記:

- (*1) 1920 x 1200 @60Hz は、RB (ブランキングの削減) のみをサポートします。
- (*2) Windows 10 標準タイミング。
- (*3) HDMI1 および HDMI2 でのみサポートされます。

3D でサポートされるタイミング

Blu-Ray3D 用の HDMI1.4a 3D タイミング

信号	タイミング	サポートされているポート
720p (フレームパッキング)	1280 x 720 @ 50Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
720p (フレームパッキング)	1280 x 720 @ 60Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
1080p (フレームパッキング)	1920 x 1080 @ 23.98/24Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
720p (トップアンドボトム)	1280 x 720 @ 50Hz	HDMI3
720p (トップアンドボトム)	1280 x 720 @ 60Hz	HDMI3
1080p (トップアンドボトム)	1920 x 1080 @ 23.98/24Hz	HDMI3
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920 x 1080 @ 50(25)Hz	HDMI3
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920 x 1080 @ 60(30)Hz	HDMI3

PC 3D タイミング

信号	タイミング	サポートされているポート
フレームシーケンシャル	800 x 600 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
フレームシーケンシャル	1024 x 768 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
フレームシーケンシャル	1280 x 800 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
フレームシーケンシャル	1920 x 1080 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3

拡張ディスプレイ識別データ (EDID) テーブル

デジタル信号(HDMI 2.0)

デジタルネイティブ解像度:3840 x 2160 @ 60Hz

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
800 x 600 @ 56Hz	1280 x 720 @ 60Hz	3840 x 2160 @ 60Hz (デフォルト)	1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	2560 x 1440 @ 120Hz
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	1920 x 1080 @ 240Hz
800 x 600 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz	1920 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz	800 x 600 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz	1280 x 800 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	

追加情報

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 25Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 30Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 60Hz 16:9	
			4096 x 2160 @ 24Hz	
			4096 x 2160 @ 25Hz	
			4096 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 50Hz	
			4096 x 2160 @ 60Hz	
			720 x 480p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
			720 x 576p @ 60Hz 16:9	

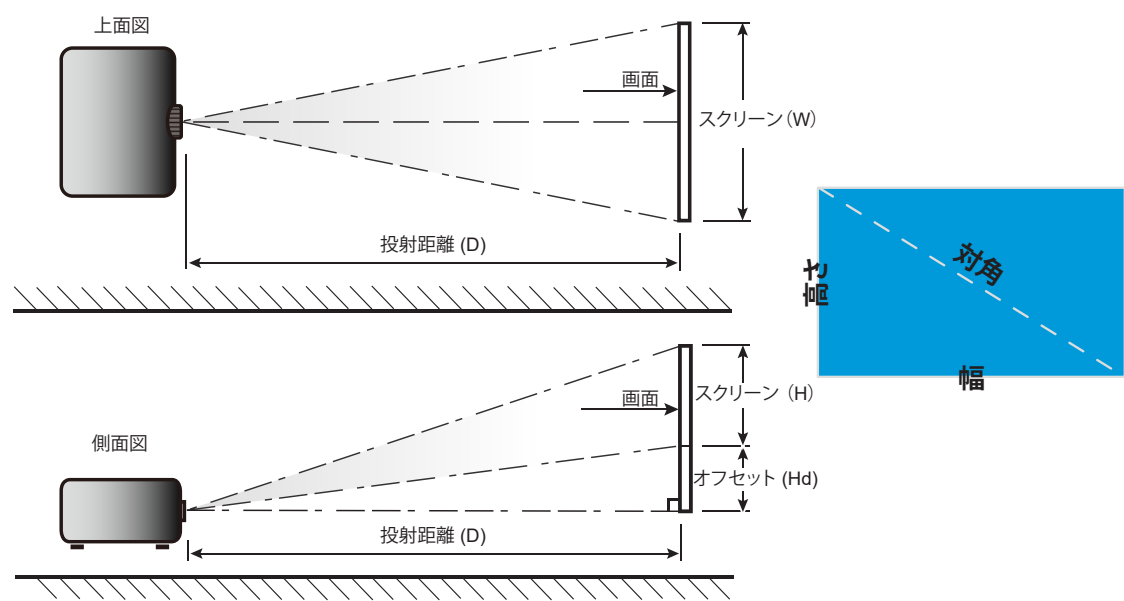
注記:

- 1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします。
- 1920 x 1080 @ 240Hz は、HDMI1 および HDMI2 でのみサポートされます。

イメージサイズと投射距離

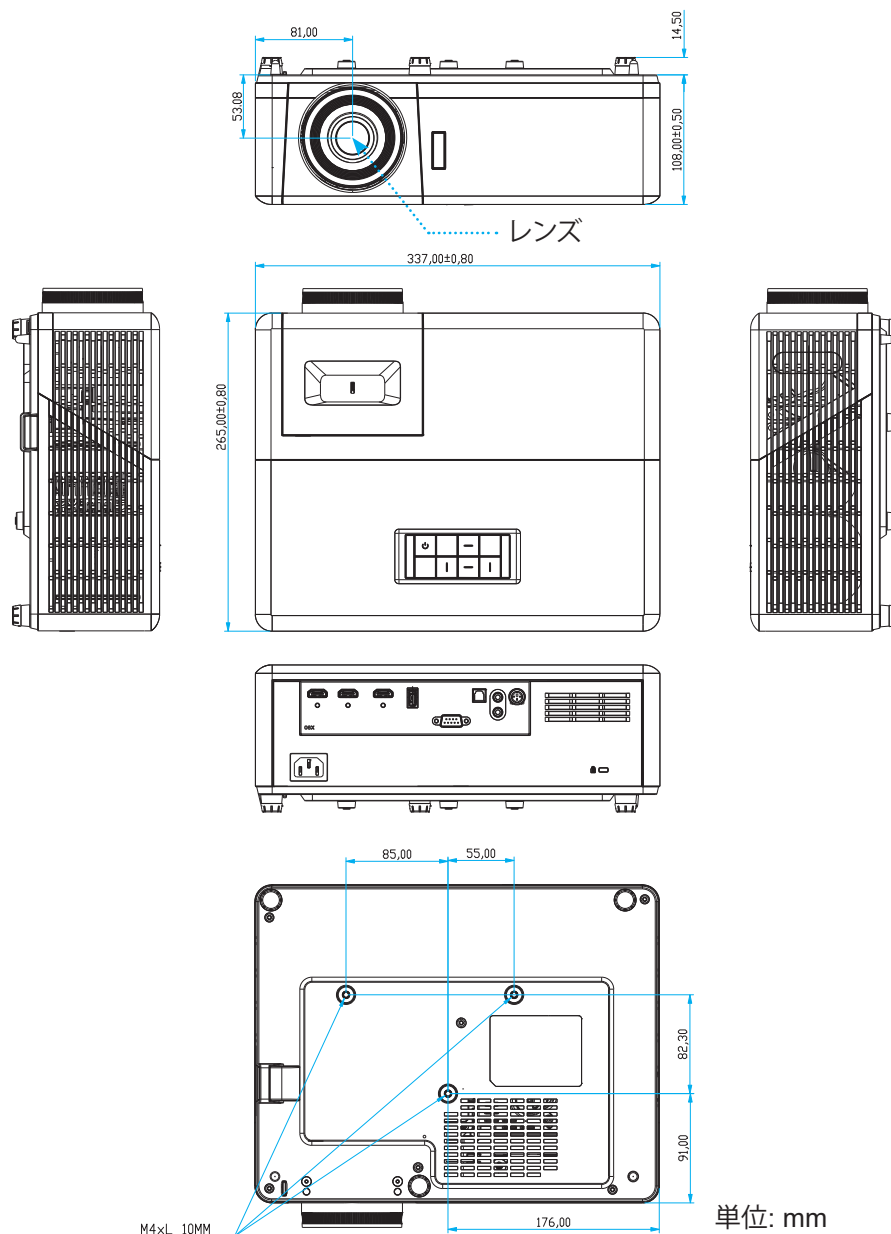
16:9 画面の対角長さ (インチ)	画面サイズ幅 x 高さ				投射距離 (D)				オフセット (Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)		(m)	(フィート)
	幅	高さ	幅	高さ	広角	望遠	広角	望遠		
30	0.66	0.37	26.15	14.71	-	1.1	-	43.4	0.02	0.06
50	1.11	0.62	43.58	24.51	1.7	1.8	65.4	72.3	0.03	0.10
60	1.33	0.75	52.29	29.42	2.0	2.2	78.4	86.8	0.04	0.12
75	1.66	0.93	65.37	36.77	2.5	2.8	98.1	108.5	0.05	0.15
90	1.99	1.12	78.44	44.12	3.0	3.3	117.7	130.2	0.06	0.18
100	2.21	1.25	87.16	49.03	3.3	3.7	130.7	144.7	0.06	0.20
120	2.66	1.49	104.59	58.83	4.0	4.4	156.9	173.6	0.07	0.25
150	3.32	1.87	130.74	73.54	5.0	5.5	196.1	217.0	0.09	0.31
180	3.98	2.24	156.88	88.25	6.0	6.6	235.3	260.4	0.11	0.37
210	4.65	2.62	183.03	102.95	7.0	7.7	274.5	303.8	0.13	0.43
300	6.64	3.74	261.47	147.08	10.0	-	392.2	-	0.19	0.61

注記: これらの値は正確ではなく、わずかに異なる場合があります。



プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
 2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
- ネジの種類: 3 点取り付け用 M4
 - 最小ネジ長: 10mm



注記: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

リモコンコード



キー		カスタムコード		キーコード		説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 3	
パワーオン		32	CD	02	FD	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
ソース		32	CD	C3	3C	「ソース」を押して、入力信号を選択します。
バックライト		該当なし				バックライトを切り替えます。
再同期		32	CD	C4	3B	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
スリープタイマー		32	CD	63	9C	スリープタイマーの間隔を設定します。
キーストン		32	CD	7	F8	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比		32	CD	64	9B	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
3D	3D	32	CD	89	76	3Dコンテンツに一致する3D モードを手動で選択します。
輝度		32	CD	41	BE	画像の輝度を調整します。

追加情報

キー		カスタムコード		キーコード		説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 3	
コントラスト		32	CD	42	BD	映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。
ランプ		32	CD	0A	F5	輝度モードを選択します。
CMS	CMS	32	CD	0B	F4	Optoma色管理システム(CMS)を起動します。(未サポート)
モード		32	CD	5	FA	さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレイモードを選択してください。27 ページを参照してください。
HDR	HDR	32	CD	0C	F3	(HDR) 設定を構成します。
4 方向キー	∧	32	CD	11	EE	項目を選択したり、選択を調整したりします。
	∨	32	CD	14	EB	
	<	32	CD	10	EF	
	>	32	CD	12	ED	
入力	○	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
戻る	↶	32	CD	0D	F2	前のメニューに移動します。
メニュー	≡	32	CD	0E	F1	プロジェクターのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
音量 -		32	CD	8F	70	調整して、音量を下げます。
ミュート		32	CD	52	AD	オーディオをミュートします。
音量 +		32	CD	8C	73	調整して、音量を上げます。
HDMI1	HDMI 1	32	CD	16	E9	HDMI1入力ソースを選択します。
HDMI2	HDMI 2	32	CD	30	CF	HDMI2入力ソースを選択します。
HDMI3	HDMI 3	32	CD	98	67	HDMI3入力ソースを選択します。
ユーザー1		32	CD	36	C9	スリープタイマー。
ユーザー2		32	CD	65	9A	CMS。
ユーザー3		32	CD	66	99	機能なし。
ユーザー4		32	CD	09	F6	機能なし。

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

- ❓ スクリーンに画像が写らない
 - すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
 - 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
 - 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。
- ❓ 画像のピントが合っていない
 - プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。17 ページを参照してください。
 - 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(45 ページを参照してください)。
- ❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる
 - アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
 - 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
 - お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。
- ❓ 画像が大きすぎるか、小さすぎる
 - プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
 - プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
 - プロジェクターパネルの [メニュー] を押し、「ディスプレイ-->アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。
- ❓ 画像が横に傾く:
 - 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- ❓ 画像が反転する
 - OSDから [設定-->設置モード] を選択し、投射方向を調整します。
- ❓ ぼやけた二重画像
 - 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[ディスプレイモード] が 3D でないことを確認してください。

追加情報

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの動作角度が、プロジェクターの上部または前面の IR レシーバーに向かって $\pm 15^\circ$ 以内に向けられていることを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 6m (約 19 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

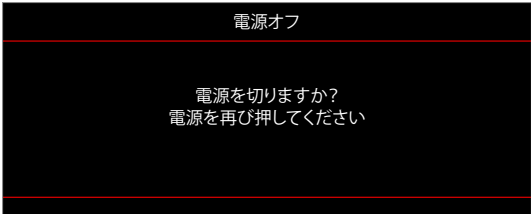
- 「光源」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケーターが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

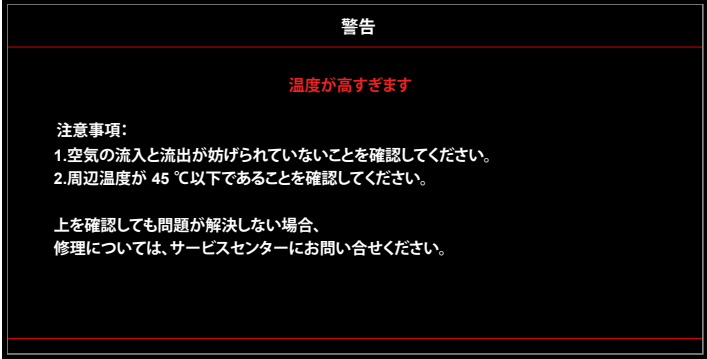
LED ステータスライト

メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	光源 LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オンと光源オン		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。 冷却ファンがオフになると、 赤の点灯に戻ります。		
エラー (光源が異常です)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	
スタンバイ状態 (バーンインモード)		点滅		
バーンイン (警告)		点滅		
バーンイン (冷却中)		点滅		
バーンイン (光源オン)		点滅 (3 秒オン / 1 秒オフ)		
バーンイン (光源オフ)		点滅 (1 秒オン / 3 秒オフ)		

- 電源オフ:

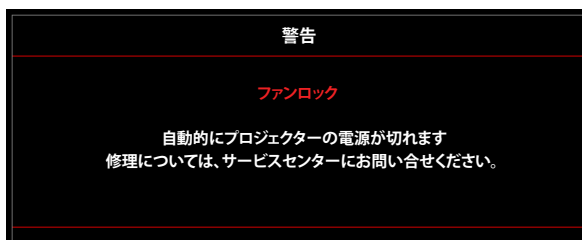


- 温度警告:



追加情報

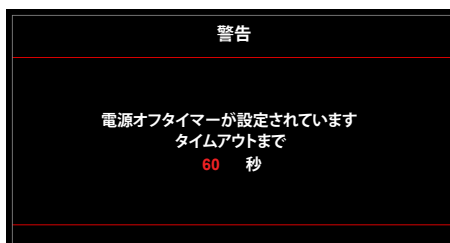
- ファンのトラブル:



- 表示範囲外:



- 電源ダウン警告:



仕様

光学	説明
技術	Texas Instrument DMD、0.47 インチ/1080p UHD HSSI DMD X1、S451
出力解像度	1920 x 1080 (アクチュエータなし)
最大入力解像度	最大グラフィック 2160p@60Hz " HDMI1 (2.0): 2160p@60Hz " HDMI2 (2.0): 2160p@60Hz " HDMI3 (2.0): 2160p@60Hz 最大帯域幅: " HDMI 2.0: 600MHz " HDMI 1.4: 600MHz (RB)
レンズ	" スロー比: 1.5 ~ 1.66 (± 3% 許容誤差) " F-停止: 1.98 (広角) ~ 2.02 (望遠) " 焦点距離: 15.84 ~ 17.44mm " ズーム比: 1.1x
オフセット	105% (± 5% 許容誤差)
画像サイズ	33 インチ ~ 300 インチ (80 インチで最適化されます)
投影距離	1.2m ~ 9.9m
I/O	" HDMI V2.0/HDCP2.2 (x3) " USB2.0 (FW アップグレード用) " オーディオ出力 3.5mm " RS-232 オス (9 ピン D-sub) " RJ-45 (IoT、インターネット OTA 機能をサポート) " S/PDIF (PCM 2 チャンネル、Dolby Digital (5.1) をサポート) " 12V トリガ (3.5mm ジャック) " 3D 同期
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	" 水平スキャン速度: 31.0 ~ 135.0 KHz " 垂直スキャン速度: 24 ~ 120 Hz
スピーカ	はい、8W
消費電力	" ブライトネスモード: 100% " 標準 240W ±15% @ 110VAC BTU: 819 " 標準 230W ±15% @ 220VAC BTU: 785 " エコモード: 80% " 標準 185W ±15% @ 110VAC BTU: 631 " 標準 175W ±15% @ 220VAC BTU: 597
電力要件	100 ~ 240V ±10%、AC 50/60Hz
入力電流	3.0A
取り付け方向	フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	" フィートなし: 337 x 265 x 108 mm (13.26 x 10.43 x 4.25 インチ) " フィートあり: 337 x 265 x 119.3 mm (13.26 x 10.43 x 4.69 インチ)
重さ	4.8 kg (10.58 ポンド)
環境	動作温度 0 ~ 40°C、80% 湿度 (結露なし)

注記: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

中南米及びメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
電話: +44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0252
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Germany

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99
 info@optoma.de

スキャンディナヴィア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

